## 高商連

高知県商工団体連合会 NO.1130(56-27) 〒780-8035 高知市河ノ瀬町33 TEL088-832-4838 FAX088-832-3126 E メール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp -ムページ <u>http://kosyoren.jp</u> このニュースはホームページでもご覧になれます

## 先進的な取り組み=被爆者の会、原水協、原水禁の協力体制構築

会(原水協)が発足した。 で核禁止運動が起こる。翌 世界大会を開くようにな 容認する共産党系と「いか 強まり、旧ソ連の核実験を 55年、原水爆禁止日本協議 なる国でも反対」の旧社会 しかし6年代に政党色が

千隻の漁船が被災し、各地 福竜丸をはじめ、日本は約 礁で行った水爆実験。 年、米国が太平洋ビキニ環 両団体の起点は1954 り し原水爆禁止日本国民会議

絶状態が続いてきた。 掲げているが、両団体は断 禁が独立した。その後、共 産党も核兵器の全面禁止を 風向きが変わったのは、

2015年の安全保障法制

が発足し、60年代に県原水 駆けて54年7月に県原水協 した漁船が多く、他県に先 (原水禁) が結成された。 本県はビキニ事件で被災 のビキニ事件70年の集会で 日共闘的にやるのはやぶさ 呼びかけ、県原水禁も「一 は県原水協が「一緒に」と ル交換を始めた。 昨年1月 ごろから互いの行事でエー

局長(65)は「核兵器禁止条 もない。メンバーの世代交 約ができて、『禁』も『協』 県原水協の松繁美和事務



ている旧社会党・総評系の原水爆禁止県民会議(県原水禁)と、共産党系 原水爆禁止をともに掲げながら、中央組織の対立で60年にわたり分裂し

年初めて集会を共催したのに続き、18日も日本原水爆被害者団体協議会 の県原水爆対策協議会(県原水協)が連携を深める兆しを見せている。

(被団協) のノーベル平和賞受賞記念集会を高知市で共催した。 原爆投下

から80年を迎え、両団体は「核廃絶のためやれることは一緒にやりたい」 を合わす機会が増え、

かではない」と応じた。

オスロでの授賞式の様子を振り返る被団協の

松浦秀人さん

い」と話す。 的は同じ。力を合わせた た。立場の違いはあれど目 ーベル平和賞受賞が追い風 「共催は他県から驚かれ さらに昨年、被団協のノ

敏幸会長(75)は「被ばく者 開いた。被爆者の会の桜木 県原爆被爆者の会も交えて 動を広げるため、一緒にや に支持政党は関係ない。運

に。18日の集会は両団体に

の谷英樹事務局長(66)も

県原水協と県原水禁が合同で開いた集会

やっていきたい」と力を込 「わだかまりを乗り越えて 後の連携は未定としつつ、 県原水協と県原水禁は今

## これからも力合わせて

=松山市=が講演し、 の首都オスロでの授賞式に参加した たい」と話した。 集会が18日、高知市の高知共済会館 被団協代表理事の松浦秀人さん(79) で開かれた。昨年12月、ノルウェー じ思いの人たちと力を合わせていき 団協)のノーベル平和賞受賞を祝う 「核兵器廃絶のため、これからも同 日本原水爆被害者団体協議会 約13人を前に

の古里の愛媛県で生まれ育ち、現在 広島市で母親の胎内で被爆した。 は被団協の四国選出代表理事などを 松浦さんは生まれる3カ月前に、

と振り返った。現地の写真などを示 団協の誰も予想しておらず驚いた\_ ・ノーベル賞委員長のスピーチに しながら、授賞式でのフリードネス われわれの活動に深い知識を持 講演では、昨秋の受賞決定を

被団協の松浦さんが講演

られ、「思いは伝わったと思う」と述 学生から写真撮影や握手を多く求め 水爆対策協議会、県原爆被爆者の会 集会は原水爆禁止県民会議、

は共存できない」と訴えたという。 壊力が強いだけでなく、後々まで被 や出産の時に不安を感じた、と伝え ロ大では「胎内被爆でも自分の結婚 す機会があったことなどを紹介し スロ大学で約30人の学生を前に話 が参加したといい、受賞翌日にはオ った」。記念パレードには多くの市民 爆者を苦しめ続ける。 人類と核兵器 た」と説明。「核兵器は殺傷能力や破 ーチは「とても明晰で分かりやすか 松浦さんは講演後の取材に、 オス

でつくる実行委員会が開いた。

会挨拶をしました。(記事右上写真)

2025年1月19日高知新聞より転載

県原水協には高商連も加盟しています。 入江高商連事務局長(原水協代表理事の ・人)は、「 "協、と "禁、が協力して祝賀 会が開けたことは大変喜ばしい。核廃絶に 向けた共同をさらにすすめましょう」と閉

■2025年 春の運動(仲間増やし)										
1/20		拡			大					
現	在	読者	会員	共済	婦人	青年				
安	芸	0	0	0	0	0				
香϶	急郡	2	0	0	0	0				
南	国	2	1	2	2	0				
高	知	1	0	0	3	0				
仁涉	到	0	0	0	0	0				
須	崎	0	0	0	0	0				
中	村	0	0	0	0	0				
言	+	5	1	2	5	0				

成果会員:読者か会員を拡大した会員(紹介含む)

■四国4県と愛知県の拡大競争									
1/20		拡	大			7			
現在	読者	会員	共済	婦人	青年	書			
愛知県	16	12	10	2	1	\ /			
四国4県	17	8	8	5	3	Ē			
高知県	5	1	2	5	0	۷ ا			
香川県	6	2	2	0	2	١			
愛媛県	5	5	4	0	1	7			
徳島県	1	0	0	0	0	l '			

拡大実数で競争しています 5月24日・25日の全国会長会議が期限です 競争も励みに仲間増やしをすすめましょう

連に拡大競争の申し入れをし 5月の全国会長会議までの などについて報告。集会では 印拒否問題、 税務相談停止命令制度、 常任理事(全商連事務局員)が 題して講演。中山眞・全商連 全商連副会長が「民商と私」 たことを報告、 「今年の春の運動について」と 人が参加しました。土谷洋男・ 一中央市で開催され、香川、 運動決起集会」が愛媛県四 月 13 四国4県連合同で愛知県 徳島、 日、「四国4県連·春 高知から101 デジタル化対応 確認さ 収受

被団協の田中熙巳代表委員のスピ

全商連運動推進ニュースより 国県連で決起集会開催